

中間テスト家庭学習コンテスト

10月17日(金)までに1冊終了させる。

学習係が回収し、提出者を記録し、美術室に運ぶ。

各学級ごとによくまとめている生徒に賞を与える。

自分専用の参考書をつくる

家庭学習の手順

- ① 日付と開始時間・終了時間を書く。いつどれくらいやったのかがわかり、前にやったことを振り返りやすくなります。
- ② 「めあて」(何の勉強をするのか)を記入。これからやることに対して、目的意識が明確になります。
- ③ 教科書やドリル、問題集のページや番号を記入する。どこまでやったか、どこを間違えたか一目で分かります。
- ④ 終わったら必ず答え合わせをして、間違った問題はもう一度おさらいする。わからないことをそのままにせず、弱点を克服することを習慣にします。
- ⑤ 学習の「ふりかえり」をする。できたこと、できなかったこと、自分自身の行動を振り返ることで、次の目標が見えてきます。

内容

- 中間テストの範囲表を元に計画を立てて取り組みましょう。
- 復習 教科書、ドリルや問題集、定期テストや実力テストを使って、調べたことを自分なりの工夫と方法でわかりやすくまとめましょう。

※注意 宿題とは別にノートを用意して、学習を行うこと。

学びの効果を最大化！

国語 答えまでの道筋が大切です。関連事項を調べ、情報をノートに集約する。模範解答を自分の手で書き、自分のものにする。

社会 ノートを書きながら理解する。重要な図表を自分自身の手で書いて消化する。全てをノートに書こうとしない。

数学 すっきり見やすく。問題と解答をセットで書く。

人に授業をするように復習する。

アハ体験 感動とともに勉強する。「ああ、そうか!」「おもしろい!」

大切なのは勉強を続けること。

“いつまで”より“どこまで”の精神。時間はあくまでも一つの目安。時間の長さよりも、内容を重視する必要がある。日々の目標範囲を終わらせる。

効果が出るまで、3ヶ月かかります。あきらめず復習しましょう。